

2月

3月 おさんぽマップ

① ツバキ ツバキ科

江戸時代に作出された品種や新潟大学の故萩屋薫名誉教授が作出したサザンカやツバキの園芸品種が、多数あり、秋から早春まで花を楽しむことができます。

ユキツバキ 4月上旬～4月下旬
雪の重みに耐えるしなやかな枝と雪解けとともに咲く花は雪の多い新潟の環境に適しています。

カンツバキ 11月～3月頃
ツバキとサザンカの交配種で、生垣などに良く使われる八重咲きの赤い花がカンツバキです。

ハルサザンカ 11月～4月
主にサザンカとマブツバキの交配種をさし、長く花が咲きます。

各種スイセン 3月下旬

スイセンは系統により開花時期が異なり、多種多様な花色や花形をもつ植物です。

園内ではニホンズイセンに系統、小型原種のブルボコディウム、ミニスイセン「テ・タ・テト(テ・ア・テテ)」などが咲きます。

② クリスマスローズ キンポウゲ科

早春から咲く可愛らしい花
本来、ヨーロッパに分布するニゲル種がクリスマスの時期にバラのような花を咲かせるためクリスマスローズと呼ばれますが、日本では2～3月に咲くオリエンタリスの交配種を含めてクリスマスローズと総称します。花の色合いや模様、花形、咲き方が実に多様で人気があります。花びらのように見えるのはガク片で、花びらは小さな蜜腺に退化し、雌バと雄バを取り囲みます。時に、蜜腺や雄バが花弁化することで、八重咲きとなり豪華な印象を与えます。

③ サンシュユ ミズキ科 3月下旬

20～30個の小花が密集して咲く
中国・朝鮮半島原産の薬用植物として江戸時代に伝わりました。早春、葉より先に小さな黄色い花を咲かせるため「春黄金花(ハルコガネバナ)」という別名もあります。

④ リュウキュウアセビ ツツジ科

鈴なりに花が咲く
沖縄に自生する絶滅危惧種です。冬に花序がピンクに色づき、直立します。3月下旬、アセビよりやや大きな光沢のあるつぼみ状の白い花を咲かせます。新芽は赤く、美しい。

⑤ カンヒザクラ(寒緋桜)バラ科

鮮やかな濃いピンク色の花を咲かせます。鐘状で下を向いて咲くのが特徴です。沖縄では、桜といえばこのカンヒザクラをさし、花見を楽しみます。

⑥ カワヅザクラ(河津桜)バラ科

静岡県河津町で見つけた桜で、カンヒザクラとオオシマザクラが自然交配したものと考えられています。早咲きの代表種で、新潟では3月下旬から開花します。

⑦ クロッカス アマメ科

小さいながら存在感のある花
春咲きと秋咲きに分けられ、園芸でクロッカスと呼んでいるのは春咲きのもの。日が当たると花が開き、曇りの日や夕方、気温が下がると閉じます。秋咲きのクロッカスの代表的な種類が「サフラン」です。

